

塘路小中学校・虹別中学校の耐震改修工事が始まります

本町では、標茶町耐震改修促進計画で優先的に耐震化すべき公共建築物とされている建物の耐震化を進めています。

昨年度実施した標茶中学校の耐震化に引き続き、今年度は塘路小中学校の耐震化（校舎・屋体の耐震改修と木造校舎の建替え）と虹別中学校の校舎の耐震化（木造校舎への建替え）を行います。また、夏休み前には磯分内小学校体育館の耐震改修工事にも着手する予定です。

■工事期間／平成23年1月末まで（予定）

■問い合わせ／

- 役場総務課交通防災係
（2階⑫番窓口 ☎485-2111内線213）
- 教育委員会管理課総務係
（☎485-2111内線282）



塘路小中学校



虹別中学校

標茶小学校（校舎）の防音事業（建替え工事）が始まりました

本町では、平成18年度から防衛省の補助による標茶小学校の防音工事（改築）を行っていますが、今年度は校舎の改築工事に着手しています。工事期間中は色々とお面倒をおかけしますが、安全対策など万全を期し、事故がないよう工事を進めますので、ご理解とご協力をお願いします。

■工事期間／平成23年2月末まで（予定）

■問い合わせ／

- 役場建設課建築係
（2階⑬番窓口 ☎485-2111内線277）
- 教育委員会管理課総務係
（☎485-2111内線282）



サマージャンボ宝くじ

■発売期間／7月7日(水)～30日(金)

■抽選日／8月10日(火)

1等前後賞合わせて…3億円 2等…1億円

※この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。



知ってる!? 釧路湿原

● 湿原の特徴編

釧路湿原を紹介するコーナーです。身近だけれども知らないこともあるのでは？みなさんの「へ〜！」を引き出します。

釧路湿原にはこれからの季節、たくさんの観光客が訪れます。湿原のどんなところがみなさんを引きつけるのでしょうか。今回は釧路湿原の特徴をいくつかを紹介しましょう。

① **日本で一番大きな湿原**：面積は約18000ヘクタールです。広大な湿原の景観は、もう他では見られない平野部の原自然を残す場所なのです。

② **たくさんの種類の生物が暮らす湿原**：釧路湿原は川や湿地、林などさまざまな環境があり、それぞれの環境にすむ生物が釧路湿原全体で暮らしています。稀少な生物も多く、たくさんの研究者がここで研究を行っています。

③ **都市に近い湿原**：湿原周辺には約23万人もの人々が暮らしています。そのすぐそばに大自然を有する湿原があるのは、世界的にみても大変珍しいことです。

ほかにも多くの特徴がある釧路湿原。今、全国から注目を集めています。それは「自然再生事業」です。国内では先進事例であり、また、ユニークな取り組みなどは各方面から注目を集めています。

今回は、その自然再生事業をご紹介しますので、どうぞお楽しみに♪



釧路湿原国立公園

釧路湿原国立公園のロゴマーク。見たことありますか？

環境省釧路自然環境事務所 ☎0154-32-7500

バス路線(沼幌線)変更のお知らせ

7月12日(月)から、路線バス・沼幌線の路線が下記のとおり一部変更になる予定です。

発着時刻が変わる停留所もありますので、お間違えのないように注意してください。

始発「沼幌三叉路」を午前6時45分（現在午前6時50分）に出発し、順次「雑賀前」まで6分早くなります。

夕方は、「雑賀前」以降、到着が6分遅くなり終点「沼幌三叉路」には午後5時16分（現在午後5時10分）に到着となります。

また、火曜日の昼間の便は路線・時間に変更はありません。

なお、実施予定日などに変更があった場合は、沼幌線沿線地域のみなさんに直接お知らせします。

ご不明な点は、下記まで問い合わせください。

■問い合わせ／役場管理課車両管理係（1階⑦番窓口☎485-2111内線143）

